

「とがち花き研究会」の活動をお伝えします！

《とがち花き研究会について》

十勝管内の花生産者は、各地域に点在しており、生産者からの「町村の垣根を越えた農業者同士の情報交換の場がほしい」や「消費者ニーズに応えるための最新情報の入手が必要」との要望により「とがち花き研究会」が平成15年に設立されました。

現在は、7市町（池田町・音更町・帯広市・本別町・幕別町・浦幌町・清水町）の生産者11戸の会員と普及センター、JA、農業大学校等がアドバイザー、関係機関として参加しています。



平成25年度は、「トルコギキョウについて勉強したい」との意見が多くあったことから、トルコギキョウを中心とした活動を行っています。

○研究会活動



十勝は天気が良く、日照時間が長いため花の生産には向いています。また、今回題材としてあげられた「トルコギキョウ」は、栽培管理が繊細で手間もかかる一方、開花が始まるとハウス内は美しい花でいっぱいになります。

しかし、十勝地方では畑作との複合経営で花き生産を行っている生産者も多く、作業の競合も課題となっています。

今回、私たちは9月中旬にとがち花き研究会が開催した「トルコギキョウ品種比較試験展示ほ視察」に同行してきました。この中では、トルコギキョウを見学しながら花の生育方法や収穫時期に向けた管理方法などのアドバイスを、種苗メーカーさんからいただくことができました。生産者の方々も、管理方法や病気について、多くの質問や意見を交わし、花に対する知識や技術を多く学んでいました。

この研究会活動は、生産者同士だけでなく普及センターやJA、農業大学校等、多くの参加者との交流ができ、貴重な情報交換の場となっています。

○「とがち花き研究会」へのインタビュー



(左から) 長坂会長、波佐監事、山西事務局長

花栽培をはじめたきっかけは、新規就農やゆり根栽培の延長、花壇苗から始めたとのこと。花きの直売を行っていく中でお客様の声を直接聞き、お客様のニーズにあった花き生産を行うことを大切にしているとのことでした。研究会では活動を通し、仲間作りや花き栽培の技術を会員や参加者と一緒に学んでいます。近年では、売り先の多くを占めていた華道業界やフラワーアレンジメント教室からの発注の減少や、花粉などのアレルギーが増えている影響で、ホテルや飲食店での生花離れが進んでいるので、販売面でとても苦労しているとのことでした。

《花インフォ読者へのメッセージ》

「気軽に花を！！心にゆとりを」

とがち花き研究会では、お花に興味のある方なら生産者以外でも参加できますので、お気軽にご参加ください。研修会には、農大生をはじめ、若い仲間もいますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

《取材を終えて》

大変お忙しい中、取材を引き受けていただいた「とがち花き研究会」の皆様、本当にありがとうございました。花き栽培は非常に手間がかかり、景気や流行に左右されやすい作目ですが、その分美しい花が咲いた時の喜びは大きいとのこと。これからも、十勝の花きのすばらしさを伝えていっていただきたいです。とがち花き研究会のご発展を心から願っています。

(平成25年9月取材 十勝総合振興局農務課)